

令和9年度

編入学者募集要項



事 項	日 程
願 書 受 付 期 間	令和8年5月28日(木)～6月1日(月)
試 験 日	令和8年7月2日(木) ※追試験 令和8年7月10日(金)
合 格 発 表 日	令和8年7月17日(金)

独立行政法人国立高等専門学校機構

宇部工業高等専門学校

〒755-8555 山口県宇部市常盤台2丁目14番1号

電 話 (0836) 35-4974 (学生課教務・入試係)

F A X (0836) 31-6117 (学生課)

U R L <https://www.ube-k.ac.jp/>

本科編入学アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1. 求める学生像

宇部工業高等専門学校は、Be human, be tough and be challenge-seeking. を教育理念に掲げ、創造力をそなえ、「もの」づくりを得意とする人間性豊かな人材の育成を目指しています。

本校では次のような人を求めています。

- 総合的な基礎学力を身につけている人（知識・技能）
- 論理的に考え、自分の意見を分かりやすく伝えることができる人（思考力・判断力・表現力）
- 目標に向かって、主体的な学びを継続できる人（主体性）
- 多様な考え方を理解して、周囲とともに活動できる人（多様性・協働性）
- 将来、専門性を活かした仕事に挑戦したい人（意欲・適性）

このような人たちが集い、新たな価値を生み出す取組みにチャレンジできる、心豊かな人間に成長してくれることを望みます。

2. 入学者選抜方針

本校では、「創造力をそなえ、「もの」づくりを得意とする人間性豊かな人材」の育成を目的とし、「1. 求める学生像」に沿って、その能力と適性を有する人材を選抜するため、推薦による選抜を行います。

出身学校長が責任をもって推薦した生徒を対象として、4年次からの教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した学生を選抜するため、調査書を評価するとともに、目的意識、意欲、適性などに関して「1. 求める学生像」に示した観点にて面接及び口述試験を行い、その結果を総合的に評価します。

学 科 案 内

	学 習 内 容	適 性
機 械 工 学 科	<p>機械工学科では、急速な技術革新にも柔軟に対応できる応用力を養うため、土台となる専門基礎科目に重点を置いています。さらに、自動車、ロボット、航空機から身近な家電や医療機器に至るまで、あらゆる機械の仕組みを深く理解できるよう、理論と実践の両面から学習します。これらを通じて、幅広い分野で活躍できる技術者になるための知識と技法を習得します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 創意工夫が好きで新しいモノ作りに興味がある人 ■ 自動車など機械の設計・製作や、工場設備の設計や保守管理に興味がある人 ■ これまでのイメージを超えたロボットなどの新しい機械の可能性を追求したい人
電 気 工 学 科	<p>電気工学科では、電気、電力、電子、制御、情報、通信など電気全般について学び、社会を支える電気分野で活躍する実践的電気技術者になるための勉強をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電気に関わる分野に関心をもっている人 ■ 電力や制御、通信など社会基盤を作る技術者になりたい人 ■ 情報や電子デバイスなど先端技術にチャレンジしたい人
制 御 情 報 工 学 科	<p>制御情報工学科では、情報通信技術を駆使し、ロボットの制御システムを構築できる実践的情報技術者になるための勉強をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンピュータのソフトウェアやプログラミングなどの分野に関心がある人 ■ コンピュータのハードウェアや組み込みシステムなどの分野に興味がある人 ■ 「ものづくり」や「もののしくみ・からくり」に興味があり、好奇心旺盛な人
物 質 工 学 科	<p>物質工学科では、物質や生物の性質・機能を原子・分子のレベルで理解し、化学的または生物学的な方法を用いて化学品・材料（繊維、プラスチック、セラミックスなど）・食品・医薬品などの開発、生産、品質管理などに携わる技術者、あるいはエネルギー・資源の有効利用や地球環境の保全に携わる技術者になるための勉強をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 化学や生物に興味をもち、物質や微生物について勉強したい人 ■ 資源や環境に関心をもち、環境に携わる技術者になりたい人 ■ 自然現象に興味がある人、実験が好きな人、新しい物質をつくってみたいと思う人
経 営 情 報 学 科	<p>経営情報学科では、経済学・経営学、情報技術と数理統計に関わる専門分野を勉強するとともにグローバル化への対応能力を身につけます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業の経営管理や経営企画に関心がある人 ■ 情報処理や数理統計などを用いた実践的技術を身につけたい人 ■ スマート社会やグローバル社会に対応する能力を活用して、新しいビジネスにチャレンジしたい人

令和9年度 編入学者募集要項

1. 募集学科・人員・編入学年次

学 科	募 集 人 員	編入学年次
機 械 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
電 気 工 学 科	若 干 名	
制 御 情 報 工 学 科	若 干 名	
物 質 工 学 科	若 干 名	
経 営 情 報 学 科	若 干 名	

2. 出願資格

次のいずれかに該当し、高等学校在学中（卒業した者は3年次、卒業見込みの者は2年次）の成績が上位1割以内に属し、出身（在学）高等学校長が人物・学力ともに優秀と認め責任を持って推薦できる者で、合格した場合、入学を確約できる者

- (1) 高等学校の工業または商業に関する学科を卒業または令和9年3月に卒業見込みの者
- (2) 高等学校の総合学科を卒業または令和9年3月に卒業見込みの者のうち、工業に関する教科・科目を20単位以上もしくは商業に関する教科・科目を20単位以上修得または修得見込みの者
- (3) 高等学校の普通科または理数科（準ずる学科を含む）を卒業または令和9年3月に卒業見込みの者

3. 志望学科

各学科に出願できる高等学校における所属学科等は次のとおりです。

学 科	工業または商業に関する学科	総 合 学 科	普通科または理数科 (準ずる学科を含む)
機 械 工 学 科	機械系学科	工業に関する教科・科目を20単位以上修得または修得見込みの者	指定しない
電 気 工 学 科	電気、電子、計測、情報系学科		
制 御 情 報 工 学 科	電子、計測、制御、情報系学科		
物 質 工 学 科	化学、材料系学科		
経 営 情 報 学 科	商業、会計、ビジネス、情報処理系学科	商業に関する教科・科目を20単位以上修得または修得見込みの者	

4. 出願期間及び提出先

- (1) 出願期間 令和8年5月28日（木）～6月1日（月）
郵送の場合は、封筒の表に「編入学出願書類在中」と朱書き、書留で提出してください（出願書類提出期間内必着）。
- (2) 受付時間 持参の場合：9時00分～16時30分（土日祝日を除く。）
- (3) 提出先 宇部工業高等専門学校 学生課教務・入試係
〒755-8555 山口県宇部市常盤台2丁目14番1号 TEL 0836-35-4974

5. 出願手続及び出願書類等

次の書類等を、出身（在学）高等学校長を経て提出してください。

出願書類等	摘 要
① 編入学願書・ 受験票・写真票	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの。 写真票に貼る写真は、出願前3か月以内に撮影したタテ5cmヨコ4cmの 大きさを、無背景・無帽かつ正面上半身のものとしします。
② 推 薦 書	本校所定の用紙に、出身（在学）高等学校長が作成したもの。
③ 調 査 書	出身（在学）高等学校所定の用紙に、出身（在学）高等学校長が作成した もので、2年次までの出席状況と成績及び単位数が記載してあること。3 年次の科目で履修中のものは評定欄に○印を記入し、修得見込み単位数 が記載してあること。 また、「2. 出願資格(2)」により出願する者は、工業または商業に関する 教科・科目を20単位以上修得または修得見込みであることが確認できる ものであること。
④ 検 定 料	16,500円 本校所定の「振込依頼書」により志願者本人の名義で最寄りの金融機関 の窓口から振り込み、「振込連絡書」を「編入学願書」裏面に必ず貼付す ること。 ※ATMやパソコン等からは振り込まないでください。
⑤ 受験承諾書	すでに就職している者については、その所属長が作成した本校校長あて の「受験承諾書」。(様式は任意)

*選考結果通知書送付用封筒及び受験票送付用封筒は不要です。

6. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、出身（在学）高等学校からの調査書、面接の結果及び口述試問の結果を総合して行い
ます。

調査書及び面接の配点は、以下のとおりとし、合計180点満点とします。

- ・調査書は学習の記録の評定80点、特別活動等の評価40点の合計120点満点。
- ・面接は60点満点。

口述試問はA・B・Cの3段階で評価します。なお3科目のうち、各科目でCがある場合は不合格と
なります。

<面接及び口述試問>

日 時 令和8年7月2日（木） 午前10時
※追試験 令和8年7月10日（金） 午前10時
場 所 宇部工業高等専門学校

口述試問の内容

学 科	工業または商業に関する学科、 総合学科	普通科または理数科 (準ずる学科を含む)
機 械 工 学 科	数学、英語、専門	数学、英語、物理
電 気 工 学 科	数学、英語、専門	数学、英語、物理
制御情報工学科	数学、英語、専門	数学、英語、物理
物 質 工 学 科	数学、英語、専門	数学、英語、化学
経営情報学科	数学、英語、専門	数学、英語、社会（経済分野）

7. 追試験

(1) 受験資格

次のいずれかに該当する者とします。

①学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に罹患または罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者

※本試験を受験できない事由を認める期間については、施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

②その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、本校がその申請を認めた者

※「月経随伴症状等の体調不良」により入学者選抜試験を受験できない場合、「その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、本校がその申請を認めた者」に該当するものとして追試験の対象となります。

(2) 受験申請方法

①、②の順に申請手続きを行ってください。

①7月2日（木）10時00分までに前項受験資格のいずれに該当するか本校まで申し出たうえで、追試験の受験意思を表明すること。

②7月3日（金）17時00分までに、本校が指定した申出書を学生課教務・入試係まで提出すること。

※遠方に居住している等の理由により申出書の提出が間に合わない場合は、事前に学生課教務・入試係まで申し出ること。

8. 合格者の発表

(1) 日 時

令和8年7月17日（金）午前10時

(2) 方法等

合格者の受験番号を本校に掲示及びウェブサイトへ掲載します。

また、郵送で出身（在学）高等学校長を経て本人に通知します。

ただし、高等学校を卒業した者には、郵送で直接本人に通知をするとともに、出身高等学校長宛てに選考結果を通知します。

なお、電話等による問い合わせには、一切応じません。

本校ウェブサイトへの掲載は、合格発表日から1週間とします。

URL <https://www.ube-k.ac.jp>

(3) 夏季学習

合格者に対して、令和8年7月31日（金）に本校にて夏季学習を行います。

9. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和8年7月31日（金）〔必着〕までに「入学確約書」（合格通知書と併せて送付します。）を提出してください。期日までに提出がない場合は、入学の意志がなく、入学を辞退したものとして取り扱います。

10. 入学手続

入学手続日、入学に必要な書類及び経費については、「入学確約書」を提出した合格者に対して令和9年2月頃に改めて通知します。

11. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある者に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課教務・入試係までご相談ください。

必要に応じて、志願者、志願者の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、以下のものが該当します。

- (1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定
- (2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書
- (3) 標準化された心理検査等の結果
- (4) 専門家の所見
- (5) 高等学校等在籍時の支援状況に関する資料
- (6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等

※ 根拠資料に関しては提出の要不要に関しても本校学生課教務・入試係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。要件を満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。

なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口：宇部工業高等専門学校学生課教務・入試係

電話番号：0836-35-4974 FAX：0836-31-6117 MAIL：kyoumu@ube-k.ac.jp

12. 被災した志願者の検定料免除について

本校に入学を志願する者で、前年度の入学者選抜試験実施日から、今年度の入学者選抜試験実施日の前日までの間に被災し、次の①または②に該当する者は、申請により検定料が免除される場合があります。免除申請をする場合は、検定料を振り込む前に本校学生課教務・入試係へご連絡ください。

- ① 本人または学資負担者が、災害救助法の適用を受けた地域で被災し、居住する家屋が半壊以上（床上浸水を含む。）の被害を受けた場合
- ② 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡（行方不明を含む）した場合

13. 出願に関する注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合は受理しません。また出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (2) いったん受理した出願書類はいかなる理由があっても返却しません。また、記載事項の変更も認めません。
- (3) 電算処理を行うため、氏名に一部の特殊な漢字（**面**、**吉**など）が含まれている場合は、本校で代替文字に置き換えさせていただく場合がありますのであらかじめご了承ください。
- (4) 振込済みの検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 振り込んだが出願しなかった、または出願書類が受理されなかった場合
 - ② 二重に振り込んだ場合、または誤って所定の金額より多く振り込んだ場合
- (5) 出願に関する問い合わせは、本校学生課教務・入試係に問い合わせてください。

14. 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された編入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用しますのであらかじめご了承ください。

- ① 入学後の教育・指導
- ② 入学料、授業料の免除申請の審査
- ③ 奨学金申請の審査
- ④ 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- ⑤ 同窓会、後援会等の案内

15. その他の注意事項

- (1) 編入学願書提出後に住所（郵便受取先）を変更したときは、直ちに本校学生課教務・入試係に届け出てください。
- (2) 受験の際には受験票を必ず持参し、「受験上の注意」を承知しておいてください。

16. 入学時に要する経費

種 別	金 額	備 考
入 学 料	84,600 円	入学手続き時に納入
授 業 料	234,600 円	年額
学 生 会 費	6,000 円	年額
後 援 会 費	32,000 円	入会金 10,000 円、会費年額 22,000 円
学生教育研究災害傷害保険掛金	4,050 円	2年間分

- * 上記記載の金額は、令和8年4月1日現在のものです。入学時及び在学中に上記入学時に納入する経費の改定が行われた場合は、改定後の納付金を納入することになります。
- * 教科書代は、別途必要です。
- * 入寮を希望し、許可された者は、別途入寮金等が必要です。

17. 入学料・授業料免除等

(1) 入学料免除

次のいずれかに該当する場合は、選考のうえ、入学料を免除することがあります。

①・②については全額または半額が、③については全額、2/3 または 1/3 が免除されます。

- ① 入学前1年以内において入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり、風水害等の災害を受けた場合
- ② その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- ③ 「高等教育の修学支援新制度」の支援対象者と認められる者

(2) 入学料徴収猶予

経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められた者及び入学前1年以内において入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり、風水害等の災害を受けた者、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる者には、選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

(3) 授業料免除

次のいずれかに該当する場合は、選考のうえ、授業料を免除することがあります。

①・②については全額または半額が、③については全額、2/3 または 1/3 が免除されます。

- ① 風水害等の災害を受け納付が困難であると認められた者
- ② 免除算定基準日（原則として、前期の授業料にあつては4月1日、後期の授業料にあつては10月1日をいう。）前6月以内において、学資を主として負担している者の失職等により著しい家計急変がある場合
- ③ 「高等教育の修学支援新制度」の支援対象者と認められる者

(4) 授業料徴収猶予

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められた者及び入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり、風水害等の災害を受けた者、その他やむを得ない理由により授業料の納付が著しく困難であると認められる者には、選考のうえ、授業料の徴収を猶予することがあります。

18. 奨学金制度

学業、人物ともに優秀で学資支弁が困難と認められる者に対しては、本人の申請に基づき、選考のうえ、日本学生支援機構等の機関から奨学資金が給付・貸与されます。

日本学生支援機構奨学生の給付・貸与額は、次の表のとおりです。

詳細は、日本学生支援機構ホームページ (<https://www.jasso.go.jp/>) をご覧ください。

■ 貸与奨学金

区 分		貸与月額（令和7年度実績）
第一種奨学生	自 宅 通 学	20,000円, 30,000円, 45,000円より選択
	自 宅 外 通 学	20,000円, 30,000円, 40,000円, 51,000円より選択
第二種奨学金		2～12万円までの 1万円単位の金額より選択

■ 給付奨学金

区 分	給付月額（令和7年度実績）	
	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	17,500円（25,800円）	34,200円
第Ⅱ区分	11,700円（17,200円）	22,800円
第Ⅲ区分	5,900円（8,600円）	11,400円

※世帯の所得金額に応じて区分が決まります。

※生活保護（扶助の種類を問いません。）を受けている生計維持者と同居している人及び社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学する人は、カッコ内の金額となります。

19. 学寮

本校には学生寮「白鳥寮」があり、約340名の日本人学生と留学生が生活をしています。「白鳥寮」は教育寮であり、寮生は、共同生活や寮生会活動という寮だからこそ得ることができる経験の中で成長していきます。

学習においては、寮生会による勉強会と国際交流活動を実施し、寮生の勉強をサポートしています。

また、清掃美化活動や文化広報、各種行事の企画・運営なども行っています。このように、寮生活を通じて低学年と高学年が共に学び合い、成長することのできる場となっています。

- ・寮居室：エアコン、Wi-Fi完備（白鳥寮保護者が設置）
- ・寮行事：新歓祭、寮祭、送別会、留学生との交流企画等

※学寮施設状況及び入寮希望者数により、入寮できない場合があります。

諸 経 費（※令和8年4月1日現在の諸経費です。今後変更となる場合があります。）

項 目	金 額	備 考
寄 宿 料	複数人室 8,400円/年	月額700円
	個室 9,600円/年	月額800円
入 寮 金	1,000円	入寮時のみ
寮費（共益費）	107,800円/年	月額9,800円、3月は不要
寮 生 会 費	2,000円/年	
給 食 費	1,300円/日	食材費と給食諸経費を併せた額（消費税込み）